

小学校（3・4年生）

1月 何が大事？

お互いに声をかけあったり、反応したりすることで得られる楽しさや安心感を味わう。コミュニケーションをはかろうとする態度が日常生活の中でも生かされているかを考えてみる。

活動の実際

＜AHA体験＞ 小 枝	
準備物	小枝
活 動 内 容	支援及び留意点
①全員が外向きの輪になり、リーダーが中央に入る。 ②リーダーは耳の横などよく見えるように体のどこかに小枝をはさむ。 ③「今から円の中で小枝を探してください。見つかったら、黙って輪の外に出て待っておいてください。」とアナウンスする。 ④全員が見つけるまで待つ。 ⑤2人組で感想を述べ合う。	○他に小枝がある屋外か何もない屋内かによって展開が異なる。 ○黙ってられない人も多い。
＜発展＞ ○小枝以外のものを使う。	
＜ふりかえりの視点＞ ○どうしてもわからない時、どういう行動をとった？ ○小枝を見つけた時、どういう行動をとった？	
＜比喻（メタファー）＞ ○アンテナ（視点）を変えてわかることで、立場の違いを考える。	

ラインナップ

準備物	なし
活 動 内 容	支援及び留意点
①全員が輪になる。 ②基準点を決め、「名前のおいうえお順位」に並び替える。 ③その順で名前を言い、タイムを計る。 ④次の目標設定をして、気の済むまでチャレンジする。	○工夫次第でタイムを短縮できることに気づかせる。 ○いつ終わるかはグループで決める。
＜発展＞ ○口を開かずに行う。 ○目を閉じて行う。	
＜ふりかえりの視点＞ ○自分の意見が言えた？	



リーダーシップ

準備物	なし
活 動 内 容	支援及び留意点

①鬼は輪の外に出て、後ろ向きで待つ。 ②輪の中にいる全員がリーダーの動作をまねて繰り返す。 ③リーダーは動作を変えていく。 ④鬼は誰がリーダーかをあてる。 ⑤あてられたら、鬼を交替する。	○必要なら、始める前にリーダーの動作をまねて繰り返す練習をしておく。 ○いつまでも震源地が見つからない場合の参加者の配慮をフィードバックする。
<発展> ○変電所：インパルスを送り、所々に変電所を置いて、「ピー」と言う。インパルスが通る瞬間に指名したら、鬼を交代する。 ○→観衆	
<ふりかえりの視点> ○輪の外にいた時の気持ちはどう？ ○輪の中心にいた時の気持ちはどう？	



観衆	
準備物	なし
活動内容	支援及び留意点
①全員が輪になる。 ②チャレンジャーは輪の外で後ろ向きで待つ。 ③他のメンバーは「礼をする」など、特定の動作を決め、チャレンジャーを輪の中に入れる。 ④他のメンバーはチャレンジャーの動作に対し拍手だけで反応する。 ⑤反応によって、チャレンジャーを特定の動作に導く。	○特定の動作を決める時、黙って行う。 ○非常に難しいので、初めはごく簡単な動作から始める。 ○なるべく拍手のみで反応する。 ○チャレンジャーには、かなりのストレスがかかるので、早めに答えを出す。
<発展> ○反応の種類を増やす。 ○動作を複雑にする。	
<ふりかえりの視点> ○動作がなかなか見つけられない時の気持ちはどう？ ○拍手しかできない時の気持ちはどう？	



シット	
準備物	なし
活動内容	支援及び留意点
<課題>全員が同時に他の者のひざの上に座ること ①全員で輪になる。 ②課題を示して待つ。 ③作戦会議を持ち、次のチャレンジをするかどうかを決める。 ④ふりかえりをする。	○周囲の状況をよく把握しておく。 ○同時に座ろうとする時に危険が伴うので注意する。
<発展> ○背中を後ろに反らす。	
<ふりかえりの視点> ○課題を達成した時、何を感じた？	